

アラブ首長国連邦の考古学博物館

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2017-10-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 佐々木, 花江 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/1587

アラブ首長国連邦の考古学博物館

佐々木 花江

1997年12月7日から14日まで、アラブ首長国連邦アブダビで日本大使館・アブダビ日本人会主催の日本文化週間が開催され、考古学講演のため佐々木花江と佐々木達夫が招待された。その後、アラブ首長国連邦内の考古学博物館や遺跡を萩勇造氏とともに見学したので、その際の見聞を報告し、博物館の特徴をいくつか記したい。

アラブ首長国連邦博物館は未だ計画段階のままで建設されておらず、7つの首長国が独自に博物館を設立運営している。Al Ain の博物館がもっとも古く、この地域の考古学を知るうえで重要な役割を果たしてきた。Fort の隣に建てられた大きな平屋の建物内は、民俗資料と発掘資料の2種類を展示している。考古学資料は石器からイスラーム陶器まで、室内壁に沿ってガラスケース内に並べている。遺跡から出土した物が中心となり、その簡単な解説が英文で付いている。地図等のパネルも併せて展示している。最近まで世界の各地で広く採用された展示方法であり、一般的な考古学博物館である。アラインでも新博物館構想が以前からあったが、まだ建設着手されていない。

この他、各首長国は首長が以前居住した Fort を修復して博物館にしている。考古学資料と民俗資料を併せて展示することが多い。この他に動物や植物、貝等を併せて展示することもある。AbuDhabi には石油博物館があるが、現在改修中であり、見学できる博物館はない。Dubai は Fort を利用した博物館があったが、1996年に Fort の地下に新博物館を建てた。人形模型を置いて市場を再現しており、考古学資料の展示は小さな1部屋だけになった。民俗資料が中心で、自然や動植物も展示し、音と光を利用して観光客に好評な博物館である。Ajuman の博物館も Fort を利用している。警察関連の展示が主であり、民俗資料も併せて展示している。Ummalquain は Fort の整備が遅れており、荒れたままである。Fujeirah も Fort を利用して、考古学資料と民俗資料を展示している。考古学資料は大きな1室だけに展示しているが、発掘出土品と適切な解説英文の組み合わせがよい。Ras al-Khaimah も Fort を利用した博物館であり、比較的古い1987年12月に開設された。当初は意欲的な博物館として評価できたが、館員が変わり、色あせた文字は読めない部分も出てきた。考古学資料、民俗資料、貝などの自然資料、最近の歴史資料を展示している。このラッセルカイマ博物館だけが1階と2階を展示室に利用しているが、他の博物館はいずれも1階だけを展示室としている。

こうした中で注目を引くのが Sharjah の博物館である。シャルジャは博物館を含めた文化活動がアラブ首長国連邦の中でもっとも盛んであり、Archaeological Museum, Natural history Museum, Science Museum, Heritage Museum, Fort Museum, Islamic Museum などが最近陸続と建設されている。Heritage Museum は元商人の家を復旧改造した博物館である。切り出した白珊瑚石を壁に積み、漆喰を塗っている。石油以前の生活を復元展示しており、併せて市場風景も展示し、さまざまな物資を狭い通りに面する連続する小さな部屋で実際に販売している楽しい博物館である。Fort Museum は首長の住んでいた Fort を修復して当時の生活を復元展示している。

Sharjah Archaeological Museum は1997年に旧博物館の近くに再開館した新博物館である。コンピュータを展示場に導入した最近流行の世界の先端を行く形態の博物館である。大きな映像でアラビア語と英語で交互に数分間の簡潔なビデオを、自然や歴史、民俗を組み合わせで数室で写している。各室を通過する

と波のような音がする等、音響効果も狙っている。広い部屋、テーマごとに分けられた部屋が続く。遺物の展示数は少なく、文章も簡潔である。専門家には物足りない部分もあるが、一般客は展示を見やすいようになっている。コンピュータが各部屋に置かれ、画面を指で触ると展示品やテーマの項目の写真が出る。日本でも最先端の画像による展示方法である。部屋には中央に住居等の模型が置かれ、室壁に沿って僅かな量の出土品が展示され、簡単な記述が添えられる。イギリスの会社に展示を依頼し、ロンドン大学の考古学者が展示内容の相談にのった。コンピュータも解説も英語とアラビア語の両方があり、二つの言語で博物館のカラー写真入りカタログが出版されているのも、アラブ首長国連邦の博物館の中では珍しい。多くの博物館は印刷物を作る知識を持つスタッフがいないからである。

部屋ごとの展示項目は次のようである。考古学と研究方法を紹介し、文化期順にまとめているが、イスラーム時代は省かれているのが残念である。便宜的に番号を付けて、次に紹介する。

1. Introduction
2. What is Archaeology [Evidence, Mapping & Cataloguing, Archaeological Techniques, Dating, Archaeological remains, Archaeology in Sharjah]
3. Fishermen, Hunters & Herders (5000-3000BC) [Environment, Diet, Buildings, Technology, Art & Ritual, Trade]
4. Farmers, Traders & Craftsmen (3000-1300BC)
 - Pre Umm an-Nar (3000-2500BC)
 - Umm an-Nar (2500-2000BC)
 - Environment, Buildings, Technology, Art & Ritual, Trade
5. Wadi-suq (2000-1300BC)
 - Environment, Buildings, Technology, Art & Ritual, Trade
6. Oasis Dwellers (1300-300BC)
 - Environment, Diet, Buildings, Technology, Art & Ritual, Trade
7. Greater Arabia (300BC to 600AD)
 - Environment & Diet, Buildings, Technology, Art & Ritual, Trade
8. Horse & Camel Burials

アラブ首長国連邦の考古学博物館は、独特の歴史的雰囲気を持っており、訪れて楽しいところである。首長が住んでいた日干レンガ造りの Fort を修復して利用した味わい深い博物館がまだ主流である。最新のコンピュータ利用博物館は、建物もいかにも現代風で美しい。ほとんどの展示室がゆったりとして、同一平面を展示場としている。日本の有名大美術館のような狭い通路や階段がないのは本当によい。また訪れたい心地よい場である。

*

博物館訪問と同時にいくつかの遺跡も車で訪ねた。シャルジャ首長国のムレイハ遺跡の見学。遺跡の近くにある発掘調査事務所で見学する。数年前に地元考古学者が発掘した泥レンガ壁の住居跡を遺跡で見る。少し壁が崩れたが、残りはいい。保存処置はしていない。離れた地区でウンマルナル形式円形石積み墓を発掘していた。周辺に広がるその他の形式の紀元前2千年紀等の墓も併せて見学する。

Hatta 見学。ハッタは山中のオアシス都市で、ワジをせき止めた湖があり、Heritage Village が設置されている。いろいろな形式のアラビア半島の伝統的な家を復元展示している。

Al Ain アライン見学。Hili Archaeological Park (Hili garden)を見学する。ヒリ公園の中には有名な動物彫刻が壁面に刻まれる円形石積み墓があり、公園内には発掘した住居跡とその他の円形石積み墓も復元展示している。現在、発掘中の遺跡もあった。Al Ain Museum を見学する。展示は例年、何の変化もない。Hili garden 前で発掘されたばかりの鉄器時代住居跡を見学する。保存処置はしていない。さらに少し離れ

た地区にある Rumeilaha 遺跡を見学する。鉄器時代の住居跡で、フランス人が発掘中であった。

Fujeilah Museum 見学。Fujeilah Fort 見学。イタリア人の指揮でインド人現場監督がフージェイラ・フォートを修復していた。イタリア人はときどきアラブ首長国連邦に来る。シドニー大学考古学学生2名がトレンチ調査で参加している。フォートは首長のために修復しており、新しい博物館は現在の博物館の隣に建設予定という。

Kalba のマウンド群を見学する。ロンドン大学 Institute of Archaeology のカール・フィリップスが発掘した円形の建物遺跡は、何重にも高い石積みが同心円状に巡る。内側程、高く小さくなり、石積み内側に干乾しレンガの壁がある。5年ほど前はダムと言っていたが、今は発掘もだいぶ進み、祭殿のように見える。

Khor Fakan Fort 見学。数年前にシャルジア政府の考古学者が発掘したままの状態に残る。保存処置はしていない。山全体を港湾施設拡張のために削除する危険性があって、論議の末、発掘調査された場所である。我々が数年前から簡単な踏査を実施しているルリーヤ遺跡を見学する。山側の小丘陵上に Fort、山裾に House がある地方拠点遺跡である。

ビスナの白い古い小さなモスクを見学。Fujeilah Museum が調査中である。シドニー大学考古学学生3名が壁外側脇の部分に小トレンチを入れている。壁は何度か漆喰を塗り直した跡が見える。17~18世紀の透明薄青色釉の小さな陶器片が1片出土していた。アラブ首長国連邦で最古というモスクの年代を知ること、保存処置を考え観光地にすることが調査の目的である。

Diba ディバ。以前、我々が発掘地を選定するために踏査した地域に行く。スポーツセンター前のマウンド周辺には家が建ちはじめている。センターの入口に向かって右側のマウンドの一部に、ブルドザーで土取りした跡がある。遺構、遺物は土取り場と揚げ土内に見えない。マウンド前に新たに建設中の家の前の土取り穴は、肥沃な土が厚く堆積している。ここも遺構、遺物は見えない。数年前よりも、オマーンの国境線がシャルジャ側に移動してきて、国境線がマウンドのすぐ近くになる。今年は国境線がコンクリート杭の間隔を置いた並びになった。この地域での発掘を計画していたが、政治情勢から無理となり、しかもよい遺構もないように見える。住民間の治安も以前から悪いままである。Diba Fort を見学する。周囲を石垣で囲む土木作業が終わり、上に四角い現代の建物が建っている。これで、Fort 周辺には発掘できる部分がなくなった。

Sharjah シャルジャ。Tel Abrak 遺跡を見学する。海岸から続く平坦地に遺跡の高いマウンドがある。数年前の国境紛争までは Ummalquain 国に属していたが、今はマウンド頂上に国境の鉄杭が打たれている。シドニー大学考古学の Dan Potts が学生達と発掘中で、下層の墓を掘っていた。Ed Dur 遺跡を見学する。ササン朝時代の拠点貿易都市遺跡として著名である。海岸に近い砂丘上に建設された都市で、砂に埋もれた状態で泥レンガ建物(住居)、珊瑚切石積重ね壁建物(Fort, Temple)、多くの墓等が残る。